

アザミウマ類・ハダニ類の多発生に注意!!

6月下旬時点で、県内では野菜類においてアザミウマ類・ハダニ類の発生が多くみられます。7月の気温は高く、降水量は少ない予報です。これらの害虫の増殖に適した気候になると予想されるため、早めの防除を徹底しましょう。



ミカンキイロアザミウマ
(体長:1.4~1.7mm)

主な防除薬剤（生育期用散布剤）

適用作物名	アザミウマ類	ハダニ類	薬剤名	使用濃度	10a当たり 使用量	使用時期	使用回数
ナス		○	コロマイト乳剤	1,500倍	100ℓ~300ℓ	前日まで	2回
	☆☆	○	コテツフロアブル	2,000倍			4回
	○		モスピラン顆粒水溶剤	4,000倍			3回
		○	粘着くん液剤	100倍	150ℓ~300ℓ		-
		○	バロックフロアブル	2,000倍	100ℓ~350ℓ		1回
トマト	☆		マッチ乳剤	2,000倍	100ℓ~300ℓ	前日まで	4回
			カスケード乳剤				
スイカ		○	サンマイトフロアブル	1,500倍	100ℓ~300ℓ	3日前まで	2回
	○	○	アグリメック	1,000倍		前日まで	3回
	★		ダントツ水溶剤	2,000倍			1回
		○	カネマイトフロアブル	1,500倍	150ℓ~300ℓ	1回	
		○	バロックフロアブル	2,000倍	100ℓ~350ℓ	2回	
ネギ	○		ハチハチ乳剤	1,000倍	100ℓ~300ℓ	7日前まで	2回
	○		スタークル顆粒水溶剤	2,000倍		3日前まで	
	○		ディアナSC	5,000倍		前日まで	
	※		カスケード乳剤	4,000倍		14日前まで	3回
	※		リーフガード顆粒水和剤	1,500倍		7日前まで	2回
	※		コルト顆粒水和剤	2,000倍		3日前まで	3回
	※		ベネビアOD			前日まで	

☆はミカンキイロアザミウマ、★はミナミキイロアザミウマ、※はネギアザミウマとして登録あり
 ・薬剤抵抗性の発達を避けるため、系統の異なる薬剤を交互に使用する。
 ・キクにおいても発生が増加する恐れがあるため注意が必要。

☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/SearchF/vtllm000.html>) を確認して下さい